

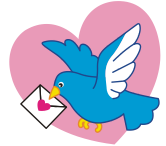
# 流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局

阿部 7140-7605 石林 7154-7511

齋藤 7143-0374 三原 7152-6559

2009.2.25 NO.36



「九条の会・流山」HP：<http://www.nagareyama9.org/> メール：[info@nagareyama9.org](mailto:info@nagareyama9.org)

## クリントン国務長官来日

米オバマ政権が成立しクリントン国務長官が真っ先に日本に来ました。マスコミは彼女の笑顔をしきりに報道しましたが、今回の訪日目的のひとつはグアムへの移転経費を日本が負担する約束をした協定の調印でした。沖縄駐留の米海兵隊を自国領グアムに「移転」させるための費用負担を日本に迫る、こうしたことを「条約」として法的拘束力を持たせて協定の調印を求めること自体が奇妙です。

いまやブッシュ政権に加担した同盟国のほとんどで政権が倒れアメリカに距離を置くようになった中、アメリカに未だに忠実な日本は貴重な存在。国内では駐留してもらう経費を「思いやり予算」として日米協定にさえ違反して負担し、今度は出て行く先の経費まで負担する。グアムでは一万人分の豪華な米軍住宅や島の上下水道、電力、ごみ処理場まで。これらを含め総額2兆円に及ぶ米軍再編の経費をこの大不況の中で米軍に支出するのは国民の苦しい現状とはあまりにかけ離れているのではないのでしょうか。

## 定例駅頭宣伝

2月9日、おたかの森駅での定例の宣伝は久しぶりの方も含めて10名で元気に行いました。

いつもマイク演説する人、チラシは「日本を戦争をする国にしない為、憲法九条を守りましょう」等それぞれ声掛けをしながら配ります。

今回は飛び入りで一言「ボクは戦争に反対です」と訴える人や又、台湾からの旅行中の方は「大賛成」と言って、その場で記名され入会されました。

今月からはニュースが台湾へも送信されます。

チラシの配布数400枚でした。

3月は 9日 (月) 15:30~16:30

流山おたかの森駅

少しの時間でも結構です。ご都合がございましたらご参加下さい

## 渡辺治さん 流山に!

5月に九条の会の憲法講演会を開きます。

講師：渡辺治さん 一橋大学教授

日時：5月16日 午後

会場：流山生涯学習センター多目的ホール

日本国憲法 第2章(戦争の放棄と戦力及び交戦権の否認)  
第九条  
一 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。  
二 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

九条の会 流山 憲法九条を守り、暮らしを守る運動に参加しませんか。  
www.nagareyama9.org  
TEL & FAX 阿部 04-7140-7605 石林 04-7154-7511 齋藤 04-7143-0374 三原 04-7152-6559

< 詳細は次号 >

九条の会・流山のポスターができています。

掲示して頂ける方はお知らせ下さい。

A3版 (外枠の線はありません)

## パレスチナとイスラエル

その対立の背景、解決の鍵は (その2)

阿部治正

## パレスチナ問題の発生



「原罪」は欧米列強やシオニズムの側に

パレスチナ問題が発生したそもそもの原因は、欧州のユダヤ人の一部、当時流行の帝国主義的な考えに影響されたシオニスト・ユダヤ勢力が、1948年にパレスチナの地でイスラエル国家建設を強行したことにある。

当時の欧米諸国や国連は、「民なき国を国なき民に」などと言ってパレスチナの地でのシオニスト勢力によるイスラエル建国を支援、黙認した。しかしそこは「民なき国」などではなく、古くからパレスチナ・アラブが暮らす土地だった。西欧諸国は自らの内部問題であり、自身で解決できなかった「ユダヤ人問題」(ユダヤ教・ユダヤ人に対する差別・迫害、その最悪の結果がナチスによるユダヤ人虐殺)を、非西欧の地においてユダヤ人に人工国家を与えることで「解決」しようと図った。そしてユダヤ人の一部もまた、自らが被った差別や抑圧の歴史を正しく活かすことが出来ず、「ユダヤ国家の建設」に唯一の解決策を求めた。先住のパレスチナ人の生活や権利を眼中に置くことなく、経済力とテロと戦争を駆使しながら、ユダヤ国家建設・拡大を推し進めていった。その背景には米英、米ソの勢力圏争い、資源を巡る角逐もあった。

その結果、多くのパレスチナ人が故郷を追われて難民となった。やがてパレスチナ人の中から解放運動が生まれ、民族主義派、社会主義派、イスラム急進主義勢力が育っていった。民族主義派のファタハなどの行き詰まりの中で、イスラム急進主義のハマスが台頭することとなった。パレスチナ解放勢力は確かに多くの問題点を抱え、致命的な限界も持っている。しかしだからと言ってテロと戦争の手段でパレスチナ人を追い出したシオニストやそれを支援、黙認した勢力に、「正義」や「自衛」を語る資格があるわけではない。パレスチナ問題における「原罪」は、シオニストとその後援者の側にこそあるからだ。

## 劇映画

## 「いのちの山河」

配役も決定いよいよクラクイン

別紙 製作ニュースをご覧ください

製作協力券(1000円)の取り扱いを始めています

券の普及と上映運動にご協力いただける方、ご連絡下さい。



## 世話人紹介

世の中の動きにあまりに関心もなく、のほほんと生きていた20歳の私は「ひめゆりの塔」を見て衝撃を受けました。

母親となってからは子供たちの幸せと平和のため、仲間と共に歩んできました。

憲法改悪の動きが強まる中、榎田ふきさんの「平和は黙ってはいやっこない。平和は戦いとるものです」という言葉をいつも心にとめています。

昨年、流山憲法集会で、品川正治さんが「1945年、敗戦後、戦地から日本への引揚船の中で、部隊長の呼びかけで、憲法前文から読み進め、9条を読みおえた時、部隊全員が号泣した。」と話され、とても感銘を受けました。「戦争を起こすのも人間なら、それを止めるのも人間」と品川さんは力強く訴えられました。憲法9条を守るため、これからも微力ながら頑張りたいと思います。

花山富佐子さん(富士見台)

## <お詫び>

郵便振替口座の番号訂

正

ニュースでお知らせした

郵便振替口座の番号が間違っていました。

00130 5 464735 口座名 九条の会流山

です。申し訳ありません。

前号の封筒の方は正しく印刷されています。

## 《投稿歓迎》

駅頭宣伝の後、見知らぬ人から電話があり、「九条の会の宣伝活動やチラシを拝見して感動しました。」ささいなことでも会員の皆さんからの情報

やお気持ちが伝わってくると大いに励まされます。  
投稿を歓迎します。